# AnyConnectクライアントの保護されていない Web保護ステータスの解釈

# 内容

はじめに

AnyConnect 4.8.01090の機能ステータスの動作

保護状態の説明

# はじめに

このドキュメントでは、AnyConnect 4.8.01090でWeb保護のステータスが保護されていないように見える理由について説明します。

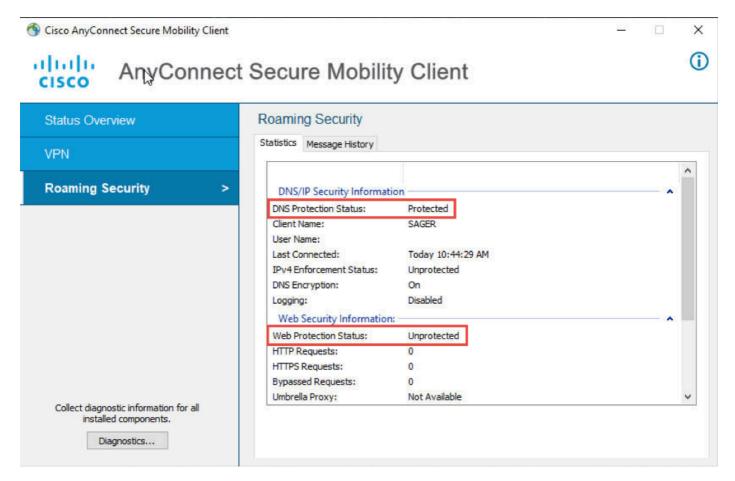
# AnyConnect 4.8.01090の機能ステータスの動作

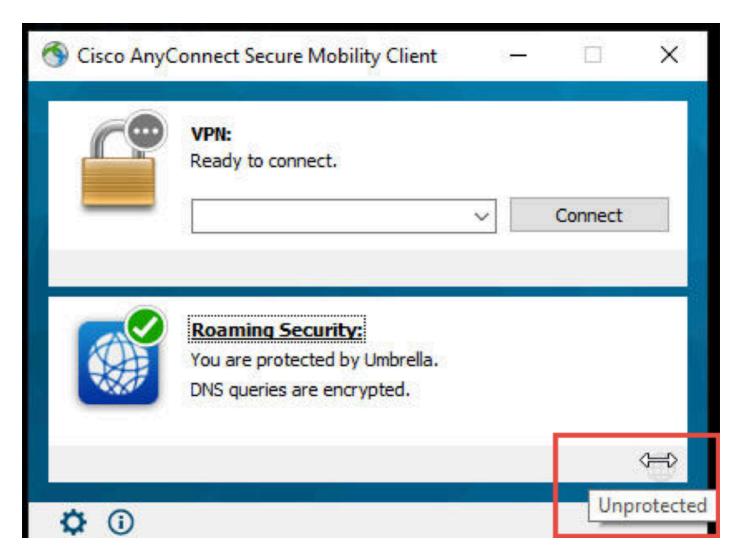
AnyConnect Clientバージョン4.8.01090では、クライアントはDNS保護のステータスをprotectedとレポートし、Web Protection Statusをunprotectedと表示できます。

# 保護状態の説明

AnyConnect 4.8.01090では、Umbrella Secure Web Gateway(SWG)サービスのサポートが導入されています。このサービスをアクティブにするには、アクティブなUmbrella SIG Essentials、SIG Advantage、またはSIGアドオンサブスクリプションが必要です。適切なサブスクリプションがアクティブになると、AnyConnectエンドポイントクライアントはUmbrella SWGサービスを有効にします。

SIGベースのサブスクリプションを持たず、AnyConnect 4.8.01090をインストールしているお客様の場合、クライアントにUmbrella SWG統計情報プレースホルダが表示され、Web保護のステータスが保護されていないことを示すメッセージが表示されます。





360043127312

- 保護されていないメッセージは、Umbrella SWGサービスにのみ適用されます。
- DNS保護は、SWGサービスの状態に関係なく、アクティブで機能し続けます。
- DNS保護の状態は、Web保護の保護されていない状態の影響を受けません。
- AnyConnectの今後のバージョンでは、Umbrellaサービスの状態と保護レベルに関するメッセージングが向上します。

#### 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。